

平成28年12月20日
株式会社 中国銀行

フィンテックビジネスコンテスト「TSUBASAアライアンス Finovation Challenge」の申込受付開始について

当行では、平成28年12月20日(火)より、フィンテックビジネスコンテスト「TSUBASAアライアンス Finovation Challenge」¹の申込受付を開始いたしましたので、お知らせします。

本コンテストは、「TSUBASA金融システム高度化アライアンス」²加盟行およびT&Iイノベーションセンター株式会社³(取締役会長 森本 昌雄)が共催するもので、開催にあたっては、IT関連企業、自治体、メディアなどから幅広い協賛・後援をいただいております。

本コンテストでは、「特定課題・特定業種×フィンテックサービス・ICT」(地域が抱えるさまざまな課題をフィンテックの活用により解決に結び付ける)をテーマとし、地方企業の新たなビジネスチャンス創出につながるサービスや地域経済の活性化に資する画期的なアイデアを広く募集いたします。

なお、選考過程でアイデアプレゼン審査を通過した応募者には、「ハッカソン」⁴を実施し、さまざまな角度から実用化に向けた検証をおこないます。

その他、参加資格・審査基準・スケジュール・応募方法等の開催要項につきましては、別紙のリーフレットや下記専用サイトでご確認ください。

【フィンテックビジネスコンテスト専用サイト】

URL <http://www.tandiic.co.jp/finovationchallenge/>

- 1 フィンテックを活用し革新的な取組みに挑戦するという意味を込め、今回、フィンテック(FinTech)とイノベーション(Innovation)を掛け合わせた「Finovation」(フィノベーション)という造語を創作しました。
- 2 フィンテックをはじめ先進的なIT技術を調査・研究するために発足した枠組みで、現在、千葉銀行、第四銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行の6行が加盟しています。
- 3 先進的な金融技術の調査・研究およびこれを活用した金融商品・サービスの企画・立案等をおこなうことを目的として設立された、TSUBASA金融システム高度化アライアンス加盟各行および日本アイ・ビー・エムの共同出資会社です。

- 4 ハック（Hack）とマラソン（Marathon）を掛け合わせた造語で、チームが与えられたテーマについて短期間で集中してサービスやアプリケーションなどを開発し、成果を競うイベントのことです。

以 上

TSUBASA アライアンス Finovation Challenge

地方創生

×

フィンテックサービス ICT



募集テーマ 「特定課題・特定業種」 × 「フィンテックサービス・ICT」
 (1) 地域が抱える特定の課題に対してソリューションにつながる新サービス
 (2) 特定の業種と IT を組み合わせた地域経済活性化につながる新サービス
 (3) 地域・お客さま・銀行が WinWin になるサービス

表彰 最優秀賞100万円、優秀賞50万円、他特別賞あり

- 主催** T&I イノベーションセンター株式会社
- 共催** 千葉銀行 第四銀行 中国銀行 伊予銀行 東邦銀行 北洋銀行
- 開催パートナー** トーマツ ベンチャーサポート株式会社 日本アイ・ビー・エム株式会社
- 協賛** 株式会社インテック、株式会社NTTドコモ千葉支店、SAS Institute Japan 株式会社、GMO ペイメントゲートウェイ株式会社、JBCC 株式会社、ソフトバンク株式会社、株式会社電通国際情報サービス、凸版印刷株式会社、株式会社日本カードネットワーク、日本情報通信株式会社、株式会社野村総合研究所、株式会社ビジネス・パートナーズ、株式会社日立製作所、富士通株式会社
- 後援** 【都道府県】 愛媛県、岡山県、千葉県、新潟県、福島県、北海道
 【市町村】 札幌市、千葉市
 【その他】 あいテレビ、株式会社愛媛朝日テレビ、株式会社愛媛CATV、株式会社愛媛新聞社、岡山大学、札幌テレビ放送株式会社、山陽新聞社、千葉テレビ放送、株式会社千葉日報社、テレビ愛媛、TeNYテレビ新潟、株式会社テレビ北海道、テレビユー福島、南海放送株式会社、N S T、UX新潟テレビ21、新潟日報社、BSN新潟放送、株式会社日刊工業新聞社、株式会社日本金融通信社、福島中央テレビ、福島テレビ、福島放送、福島民報社、福島民友新聞社、一般社団法人北海道IT推進協会、北海道新聞社、北海道テレビ放送株式会社、北海道文化放送株式会社、北海道放送株式会社、北海道モバイルコンテンツ・ビジネス協議会

(五十音順、敬称略 ※平成 28 年 12 月 6 日現在)

TSUBASA アライアンス Finovation Challenge

本コンテストでは「特定課題・特定業種 × フィンテックサービス」を開催テーマとして、地域が抱える課題や地域に根差す様々な業種とフィンテックサービス、ICT を掛け合わせた金融の枠組みに留まらない、画期的なアイデアを広く募集します。さらに1次審査通過者には開発環境、API の提供を行いデモアプリ開発を実施し、新しいサービスの実用化を見据えたコンテストにしたいと考えております。

フィンテックを活用して新たなサービスを創出したい方、新たなアイデア・技術で地域に貢献したいと思う方、イノベーションを起こしたい方、ぜひともご応募ください。

特定課題とは・・・少子高齢化、教育、子育て支援、事業承継、インバウンド、商店街活性化、中小企業支援、地域特産品 PR、地域イベント活性化、移住促進、婚活支援、雇用支援など地域が抱える課題を指します。

特定業種とは・・・医療、介護、農業、観光、不動産、交通、小売、飲食店など地域に根差す業種を指します。

参加資格

- ・ 新たなイノベーション創出に向けた熱い思いを持った全国の企業・団体・個人
- ・ 千葉県、新潟県、岡山県、愛媛県、福島県、北海道をはじめとした地方の活性化に寄与する画期的なサービスを生み出す意欲のある企業・団体・個人

※金融に関する知識は問いません。幅広い方からの応募をお待ちしております。

審査基準

- ・ 利便性、革新性、実現性、地域貢献度などを総合的な観点から審査

※審査の結果、優れたサービス、アイデアについては主催者、共催者と協働で実用化の検討を行わせて頂く場合がございます。

スケジュール

| | |
|------------------------|--------------|
| 参加登録受付開始 公式サイトよりご登録 | 平成28年 12月20日 |
| 開催説明会 | 平成29年 1月13日 |
| アイデアシート提出締切 | 平成29年 1月31日 |
| 1次審査（書類審査）結果通知 | 平成29年 2月15日 |
| 1次審査（書類審査通過者プレゼン審査） | 平成29年 2月27日 |
| デモアプリ作成期間開始 | 平成29年 2月28日 |
| デモアプリ作成期間終了 | 平成29年 4月19日 |
| 最終プレゼン大会 | 平成29年 4月26日 |

※TSUBASA アライアンス(正式名：TSUBASA 金融システム高度化アライアンス)・・・フィンテックをはじめ先進的なIT技術を調査・研究するために発足した枠組みで、現在、千葉銀行、第四銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行の6行が加盟しています。

※Finovation Challenge・・・フィンテックを活用し革新的な取組みに挑戦するという意味を含め、今回、フィンテック(FinTech)とイノベーション(Innovation)を掛け合わせた「Finovation」(フィノベーション)という造語を創作しました。フィンテックを活用して新たなイノベーションに挑戦するという意味合いを含めています。

<本件に関するお問い合わせ先>

T&Iイノベーションセンター株式会社 フィンテック事業部 大矢・松本
電話：03-3516-0090 FAX：03-3279-6700 e-mail:info@tandiic.co.jp

「TSUBASA アライアンス Finovation Challenge」についての詳細は、
T&Iイノベーションセンター株式会社のホームページ内の公式サイトをご確認ください。
<http://www.tandiic.co.jp/finovationchallenge/>